

中学校 総合的な学習の時間の単元計画（例）【第3学年：70時間】



探究課題（例）：日本遺産を活用した地域活性化に取り組んでいる組織や人々の思いや願い

単元の目標： 日本遺産に認定された地域の文化等のストーリーを調べたり、それを生かした地域活性化についての考えを発信する活動を通して、日本遺産に関わる人々の思いや願いを理解し、持続可能な地域づくりの在り方を考えるとともに、すすんで地域に関わっていこうとするようにする。

単元名：日本遺産を活用した地域の活性化に向けて、自分たちにできることを考え実行しよう

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月						
小単元1（25時間）					小単元2（45時間）日本遺産を活用して、地域の活性化につながるようなイベントを企画・実行しよう											
【導入】 ・地域の観光客数のデータを示し、その推移から「地域のよさや課題」について話し合ったり、ウェビングで地域のイメージを広げたりする。 【情報の収集】 ・地域の資源やよさ、課題を調べる。 ・地域の人に、自分たちの地域に対する思いや考えを尋ねる。 ・実際にアンケート等の調査を行う。 ★収集した情報はデジタル化して蓄積する。 【整理・分析】 ・アンケート結果を視点を決めて分類、整理する。 ・自分たちが考える「地域のよさ」と異なるよさを見出す。 【情報の収集②】 ・「異なるよさ」について、地域の文化財等を見学したり、日本遺産を観光している人々にインタビューしたりする。 ★インタビューの様子を動画で保存し、後の学習で振り返ることができるようにする。 【まとめ・表現】 ・情報の収集②を踏まえ、もう一度「地域のよさ」「課題」について話し合う。 【振り返り】 ・自分たちの地域のよさは「自然」だと思っていたけど、いろいろな人に尋ねてみて「日本遺産」があることや、「日本遺産」に関わる人々の思いもわかった。地域のよさを生かし、課題を少しでも解決できるような、日本遺産を使って自分たちも参画できるイベントを考えてみたい。 （単元を通した課題設定）					【情報の収集】 ・地域の現状の調査（産業、イベント等）・観光客等がいればインタビューする。 ・行政機関や各業種の事業所へ体験やインタビューに出かける。 ・日本遺産活用の現状について調べる。 ・地域に密着したイベントについて、他地域の情報を集める。 ★タブレット端末等で撮影を行う。★内容ごとに収集した情報を蓄積する。 【整理・分析】 ・体験活動や働くことの意義について話し合う。 ・住民の思いや願い、地域の現状を踏まえ、イベントの内容について視点を決めて話し合う。 【まとめ・表現】 ・調査結果や体験結果をレポートや新聞などにまとめる。 ・事業所や住民に対して日本遺産を活用した地域活性化のためのイベントについてプレゼンテーションを行う。 ・日本遺産ガイドなどのイベントを実行する。 【整理・分析】 ・住民や観光客、事業所の方の意見を踏まえ、自分たちのイベントの内容について、視点を決めて見直す。 【振り返り】 ・調査活動や職場体験で、地域の現状や働くことについて考えることができた。自分たちで考えたイベントにも意見をもらったので、内容を考え直してイベントを企画したい。 【課題の設定】 ・イベントを成功させるための内容と準備をどうするか 【情報の収集】 ・地域に密着したイベントについて、他地域の情報を集める。 【整理・分析】 ・「実現可能」「準備が簡単」「みんなが楽しめる」「住民の意見を反映」などの視点で、イベントの内容を話し合う。 イベント実行！ 【まとめ・表現】 ・イベントの様子や、参加した方々の意見を整理して、イベントを振り返る。 【振り返り】 ・自分たちの地域のよさや現状が分かった。そこで暮らしている人々や日本遺産を活用して地域の活性化につながる活動をしている事業所の方との交流を通して、地域を大切にすることや自分たちから積極的に関わっていくことの大切さが分かった。1年間地域のことや職業のことについて学んだことで、地域と自分とのつながりや、これからの自分の将来について考えることができた。 など						資質・能力 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 課題の解決に向けて、進んで取り組もうとする。 事象を比較したり多面的に検討したりして、課題の解決に向けて自分の考えを整理する。 目的に応じて整理したり表現したりする。 プレゼンテーションを行うためのICT活用の技能を身に付ける。 活動を振り返り、今後の活動の見直しをもつ。 目的や意図に応じて必要な情報を収集する。 収集した情報を、視点を決めて整理する。 学習を振り返り、地域と自分との関わりについて考える。					
					資質・能力 体験活動や効果的な資料提示を工夫 指導者が地域のよさを事前の把握しておく 事象を比較したり因果関係を推論したりして考え、視点を定めて多様な情報を分析する。 目的に応じて手段を選択し、情報を収集する。 地域のよさがどのようなものかを理解する。 調べたことをまとめる中で、新たな疑問や課題を見いだす。 地域と自分との関わりを考えながら課題を見いだす。						ICT活用 1回目のイベントの成果と課題を生かして					